



神埼市立脊振中学校 学校だより

樹人舎 第13号

令和5年11月13日 校長 牟田美弥子

【学校教育目標】

脊振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成

【令和5年度の生活目標】

- ①自分たちで学校のよい雰囲気をつくる
- ②周りに信頼されるにはどうあるべきか考えて行動する

☆今年^{ええ}の文化発表会、笑笑じゃないか！



「笑笑じゃないかー脊振中の最高傑作ー」これは、全校生徒が選んだ文化発表会のスローガンです。

発案者の一番ヶ瀬さんが、「最近のニュースで悲しいニュースやトラブルが多い。そこで脊振中の文化発表会を、明るく楽しいものにしたい。全校生徒で協力し、脊振中の最高傑作にしたい」と呼びかけ、生徒たちが自分たちで力を合わせて実現してくれました。



1年 勇者稜彦～伝説の剣～

「練習が進むごとに本番をイメージできるようになり、不安や緊張が出てきました。僕は、村長とマツケンの2つの役をして、練習が大変だったけど、小道具づくりも頑張りました」（山下悠楽）

「苦労したことはセリフを覚えることで、家でも練習しなければ、本番には間に合いませんでした。よかったことは、困ったときにみんなが助け合っていたことです」（森崎人至）



全校合唱「大切なもの」

「1年生の練習では声が出なくて不安で怖かったのですが、全校で歌った時、先輩方の声に圧倒されました。来年の1年生が私と同じように感動し圧倒されるように、来年も精一杯歌いたい」（後藤真花）



2年 クイズ・職業人

「一人一人のセリフが長くて覚えるのが大変だったけれど、練習の時にみんなでアイデアを出し合いながら作ることができたのでよかったです」（古里菜穂）

「2年生の劇ではクイズがあり、自分も当たったりしてとても楽しかったです」（小野稜悟）

「短期間で準備するのが大変だったけど、クラスみんなの意見や思いがたくさん詰まった劇になったから、すごく心に残るものになりました」（宮田望愛）



「最後の文化発表会なので、みんな気合が入り、一人一人用意している衣装がどれも個性的でユニークなものばかりでした。私も自分の馬の衣装を、段ボールを使ってうまく作ることができました」（高島魁斗）

「3年生や2年生の劇は、演技や衣装のレベルが高くて、すごいなと思いました。来年は、先輩たちのような劇にできるように、よりみんなで協力して頑張りたいです」（永石千洋）

「練習で失敗してもみんな笑って許してくれて、とても温かいなあと思いました。お陰で精一杯ほかの人の手伝うことができ、自分の役を最後までやり切れました。運動会でも感じましたが、脊振中でしかできないことが、たくさん体験できました」（長内穂花）

心を一つにして歌った全校合唱、みんなで力を合わせて作り上げた学年劇は、とても素晴らしかったです。仲間の声を聴き一緒に美しい歌声を響かせようとする一生懸命な表情、仲間と呼吸を合わせて精一杯演技する姿に感動しました！

晴れわたる山のみどりを仰ぎつつ
学ぶよい子の日々に幸あれ

紫郎先生
の作品



「体育祭 速い遅いは気にせずに
頑張ることに 皆が拍手」
一般の部優良賞 森崎 三善 様



紫郎先生は、脊振中の教頭先生でした。秋桜忌で、当時の写真を紹介しました。先生は1列目の中央に座られています。昭和22年、旧校舎の中で、教頭先生として忙しく、そして楽しく過ごしていらっしやったことでしょう。

その後、昭和25年に脊振中の校歌を作詞されたのをはじめとして、神埼中や三瀬中など県内の小中学校の校歌、脊振の歌、脊振育友会の歌の作詞、数多くの短歌を作られました。

文化発表会の折に、今年応募された脊振小6年生(7)、一般の皆さま(72)、中学生(34)の短歌をすべて展示して、ひとつひとつゆっくと楽しませていただきました。作者の皆さんの今しか詠めない今の思いが伝わってくる素敵な作品ばかりでした。

今年是一般の方の応募が急増し、会を盛り上げていただいたことに感謝しています。

皆さま、来年の応募をお待ちしています！

中学生の部

★服巻紫浪短歌青春大賞

夕暮れの脊振路灯す曼殊沙華 風にゆられて満月を待つ

中一 永石千洋

★優秀賞

夏の舞台闘う選手の光る汗 バトン受けつき受験と闘う

中三 石松 隼

くりさんままつたけなしかき旬の物食欲の秋一日五食

中三 高島魁斗

枯れ葉落ち色とりどりの葉の道よ 手のひら形のかわいい葉っぱ

中二 小柳諒宗

★優良賞

秋風に揺れる草木となびく髪揺れる思いは受験生だ

中三 池田琥太郎

新学期新たな環境楽しみだ 自然にめぐまれさあ冒険だ

中二 中園和奏

ホイツル体育館に鳴り響くさあ今日も気張っていこうか

中二 今村 駿

学校で部活と勉強がんばった 勉強部活全力アタック

中一 山下悠楽

秋風や体も心も冷やされて夕日の赤が空をそめてく

中一 後藤真花

かぜがふく桜ひらひらまいあがるかわいい花びらもう春だなあ

中一 中園心夏

小学生の部

★服巻紫浪短歌青春ジュニア大賞

弟と遊びつかれて帰る時 金木犀が香る夕暮れ

小6 中島杏奈

★優秀賞

いねかりでザクザクザクと手であって気もちよくなりどんどんかった

小6 石松 仁

一般の部

★服巻紫浪短歌大賞

ぽつぽつとあちらこちらに彼岸花 涼しい季節はじまる合図

西川彩乃

★優秀賞

脊振路の道草さそう仁比山の水車はひねもすがタンゴトンと

千綿 修

★優良賞

喜びの春を迎えて送り出す 残る書棚をもてあます秋

森 宜幹

栗の実の収穫向かえ急ぎ足 不安がよぎるシシの足跡

實松英治

体育祭 速い遅いは気にせずに頑張ることに皆が拍手

森崎三善